大人になれなかった弟たちに……(3)

米倉 斉加年

(「僕」の家族は石釜という山あいの村に疎開することとなった。疎開先では配給がなく、食料不足が続いていた。)

ヒロユキは病気になりました。僕たちの村から三里くらい離れた町の病院に入院しました。僕は学校から帰ると、毎日、まきと食べ物を祖母に用意してもらい、母と弟のいる病院に、バスに乗って出かけました。

十日間くらい入院したでしょうか。

ヒロユキは死にました。

暗い電気の下で、小さな小さな口に綿に含ませた水を飲ませた夜を、僕は忘れられません。泣きもせず、弟は静かに息をひきとりました。母と僕に見守られて、弟は死にました。病名はありません。栄養失調です……。

(中略 「僕」は、死んだヒロユキをおんぶした母と、病院から家まで歩いて帰った。次はその道中の場面である。)

空は高く高く澄んでいました。ブウーンブウーンというB29の独特のエンジンの音がして、青空にきらっきらっと機体が美しく輝いています。道にも畑にも、人影はありませんでした。歩いているのは三人だけです。

母がときどきヒロユキの顔に飛んでくるはえを手ではらいながら、言いました。

「ヒロユキは幸せだった。母と兄とお医者さん、看護婦さんにみとられて死んだのだから。空襲の爆撃で死ねば、みんなばらばらで死ぬから、もっとかわいそうだった。」

家では祖母と妹が、泣いて待っていました。部屋を貸してくださっていた農家のおじいさんが、杉板を削って小さな小さな棺を作ってくださいました。弟はその小さな小さな棺に、母と僕の手でねかされました。小さな弟でしたが、棺が小さすぎて入りませんでした。

母が、大きくなっていたんだね、とヒロユキのひざを曲げて棺に入れました。そのとき、母は初めて泣きました。

人物の心情と描写

登場人物の心情は、直接的に表現されるだけでなく、人物の行動や、風景の描写を通して表現されることがある。特に人物の心情を反映した風景や場面の描写を情景描写という。本文中では「暗い電気の下で」などといった描写を通して登場人物の心情が表現されている。

確認テスト 本文を読んで、問いに答えなさい。

(1) 病院での情景描写を通して「僕」の心情が表現されている一文を探し、その最初の三字を答えなさい。

(2) ——線部「母は初めて泣きました」とあるが、このときの母の心情を説明した次の文の（　　）に入る言葉を、本文中から十字以内で書きぬきなさい。

食べ物が十分にない中でも、ヒロユキが（　　）ことを知り、改めてヒロユキを亡くしたことへの深い悲しみを感じている。

(3) 本文の内容に合うものを選びなさい。

ア 十日間ほどの入院後、ヒロユキは栄養失調で亡くなった。

イ 「僕」は母とともに、暗い空の下、バスで家まで帰った。

ウ 家で待っていた妹は、弟を棺に入れるまで涙を見せなかった。

［　　］